

妊娠期・授乳期の妊産婦さんが 心配する健康問題、薬のこと 知ってほしいこと

国立成育医療研究センター女性の健康総合センター
妊娠と薬情報センター

藤岡 泉

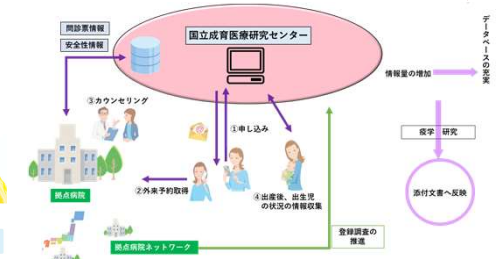
自己紹介

- 産婦人科医師（産科が専門）
- 国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センターとは
 - 2005年厚生労働省事業として開始
 - 妊娠中の薬の安全性情報を提供
 - 相談症例データを集めた研究

妊婦さんや妊娠を考える女性に
薬の安全性情報について
カウンセリング・情報発信しています



国立成育医療研究センターについて
Naito National Center for Child Health and Development



※このたびの講演に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

本日のおはなし

妊娠期・授乳期のよくある悩み：マイナートラブル・妊娠中の合併症
病気・薬について 基本的な考え方
参考になる本・サイト

本日のおはなし

妊娠期・授乳期のよくある悩み：マイナートラブル・妊娠中の合併症
病気・薬について 基本的な考え方
参考になる本・サイト

妊娠中・授乳中の心配なことは？

腰痛が辛い。。。
便秘も辛い。。。

持病があり
治療のために妊娠中も
服薬が必要。。。

妊娠中に
使える薬は
ある？

血圧が高いといわれた
妊娠高血圧症って
なんだか怖いわ。。



妊娠期・授乳期のよくある悩み

妊娠中のマイナートラブル

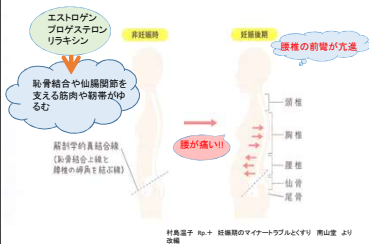
1. 腰痛
2. 便秘
3. 季節性アレルギー
4. 貧血
5. 皮膚疾患

妊娠中の合併症

1. 妊娠高血圧症候群
2. 妊娠糖尿病



妊娠中のマイナートラブル たとえば 腰痛



- **妊娠中の腰痛：**
 - 妊婦の70%近くで、ある程度の腰痛を経験する。肥満妊婦や腰痛の既往がある妊婦に多い
- **対処法**
 - 適度な運動が妊娠中の腰痛を改善する可能性がある
Little SD, Cochrane 2015;9:CD001139
 - 適度な体重増加
 - **骨盤ベルト**
 - 骨盤の関節のゆるみを締め、脊柱と股関節部の安定性を改善させる
 - **鎮痛薬**
 - **×NSAIDs (ロキソニンなど)：動脈管早期閉鎖、児の腎機能への影響**
 - **△湿布 (2014年ケトプロフェンテープ剤妊娠中使用する注意喚起)**
 - **アセトアミノフェン (カロナール)**

※どこに確かな情報があるか？



妊娠中のマイナートラブル どこに確かな情報がある？

- ◆ マイナートラブルについてのエビデンスは少なく、信頼性の高い書籍は乏しい
- ◆ 医療機関やママ向けアプリなどインターネットの情報がメイン
- ◆ 中にはあやしい情報も・・・



【医師監修】妊娠初期の腰痛はどうして起こる？ どうしたら痛みは緩和できる？

妊娠初期の便秘・おなら解消法は？便秘薬やいきみは流産につながる？ | 産婦人科医監修

産婦人科医監修 | 妊娠初期は、便秘になりやすい時期です。妊娠初期の便秘には、ホルモンの変化や精神的なストレスが関わっています。いきんで産んでしまうのが怖くて我慢してしまうと、赤痢に便秘が重化してしまうことも考えられます。ここでは、妊娠初期の便秘の原因とさまざまな対処法、薬・母乳への影響について解説します。

著者： まままで編集部
更新日：2023年09月29日
ID: 2023732

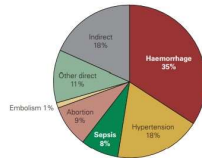
妊娠中の合併症 妊娠高血圧症候群とは

HDP: Hypertension disorder of pregnancy

- 頻度：全妊娠の約5%
- HDPのうちCHは妊婦の高齢化により増加傾向
- 妊娠前160/110mmHg以上の重症高血圧→児の先天異常リスク上昇を示唆する報告
- 慢性高血圧のある女性は重症化しやすい（腎機能、肝機能への影響）
- 2000-2010年のWHOの報告では母体死亡の18%がHDP
- 治療は妊娠の終結（分娩）
- 妊娠週数により降圧薬による治療

- 治療：
- 妊娠の終結（分娩）
 - 妊娠週数により降圧薬治療
 - HDPの女性は、将来の高血圧症、心筋梗塞などのリスクに関連
 - ⇒**妊娠前から女性の血圧管理を適切に行うことでリスク低減**
 - ⇒**プレコンセプションケアの重要性**

Global estimates of the causes of maternal deaths, 1997-2007



Taking stock of MATERNAL, NEWBORN and CHILD SURVIVAL 2000-2010 decade report(Countdown report pages 11-21.pdf (who.int))

妊娠中の合併症 どこに確かな情報がある？

- 学会からの情報
- ◆ 日本産科婦人科学会
(<https://www.jsog.or.jp/citizen/5735/>)
 - ◆ 日本妊娠高血圧学会
(<https://www.jsshp.jp/patient/>)

日本産科婦人科学会が監修した健康手帳
HUMAN
交と男のディクショナリー
女性だけでなく男性にも知っておいてほしいことを掲載した、健康について不安を感じたらまず読みたいいただきたいディクショナリーです。

10 妊娠糖尿病と妊娠高血圧症候群
岡山県立総合医療センター 産婦人科 平松 尚子

公的機関の情報
◆ 成育医療センターのHP
(<https://www.ncchd.go.jp/hospital/sickness/children/037.html>)

妊娠高血圧症候群 (Hypertensive Disorders of Pregnancy: HDP)

SSHP 日本妊娠高血圧学会

妊娠高血圧症候群と診断されたことのある方へ

妊娠糖尿病と妊娠高血圧症候群は、妊娠中に起こる代表的な合併症です。どちらもおなかの赤ちゃんに悪い影響があるので、管理・治療が必要です。

◎「妊娠糖尿病」とは？

1-糖化血球タンパク質 (HbA1c) という血糖値を平均化した指標を用いて、妊娠中に血糖値が高くなる傾向があるかを調べます。血糖値が高くなる傾向がある場合は、妊娠糖尿病と診断されます。妊娠糖尿病は、おなかの赤ちゃんに悪影響を及ぼす可能性があります。お産の時期、方法に医師が関係する場合があります。医師は日本糖尿病・妊娠学会

本日のおはなし

妊娠期・授乳期のよくある悩み：マイナートラブル・妊娠中の合併症
薬・病気について 基本的な考え方
参考になる本・サイト

妊娠中の薬・病気に関する不安は？

妊娠に気づかず薬を飲んでしまった。。。

持病があり、治療のために妊娠中も服薬が必要。。。

妊娠中に使える薬はある？



妊娠と薬の基本的な考え方

使用するリスク/デメリット

- ・催奇形性*
- ・胎児毒性**



使用するメリット

- ・母体疾患の安定
- ・胎児環境の安定



*催奇形性：赤ちゃんに形態異常をおこすリスク
**胎児毒性：薬が胎盤を通して赤ちゃんの臓器や発育などに影響を及ぼすリスク

本日のおはなし

妊娠期・授乳期のよくある悩み：マイナートラブル・妊娠中の合併症
薬・病気について 基本的な考え方
参考になる本・サイト

精神疾患のある女性の例

パニック障害の女性が妊娠して、赤ちゃんへの影響を心配して薬をやめてしまったが調子が悪くなり、...

専門家への相談により
確かな情報につながる
ことがお母さん・赤ちゃんの
ために大切です！



妊娠中・授乳中の薬の安全性情報は限られていて不安に陥りやすい
薬を飲むことによるリスクと必要な治療を続けることのメリットを考慮することが大切

<https://mamani.jp/40655>

参考になる本・サイト

女性の健康全般
(思春期・妊娠期・更年期など) 無料e-learningも

ヘルスケアラボ



ヘルスケアラボ 厚生労働省研究班(東京大学医学部藤井班) 監修
<https://w-health.jp/>

日本産科婦人科学会ガイドライン
<https://www.jsog.or.jp/medica>



産婦人科診療ガイドライン
産科編 2023



電子版付



産婦と薬情報センター
<https://www.ncchd.go.jp/kusuri/>

ありがとうございました

